

海外安全対策情報（平成29年7月～9月期）

1 社会・治安情勢

2017年7～9月期の総犯罪発生件数は前年同期比でやや減少した。殺人件数はほぼ半数となったが、一方で強姦と詐欺の件数は約1.5倍に増加した。

発生件数は減少しているものの、邦人被害も報告されている窃盗については、依然一番多い犯罪であることから、十分に注意が必要。財布などの貴重品の管理は細心の注意を払い、外出時には常に身につけておくなど基本的防犯対策を講じること、また、車を駐車する際は照明が多く明るく、利用者の多い場所を利用すると共に車内に鞆などを置き放しにしないこと等の注意する必要がある。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 西豪州警察当局が発表した7～9月期の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪発生件数は66,488件で、前年同比で5.77%減少している。また、パース首都圏で西豪州全体の76.14%の犯罪が発生している状況に大きな変化はない。

(2) 2017年7～9月の主な犯罪発生件数内訳

(ア) 西豪州全体（合計66,488件、前年同比▲5.77%）

①家庭内暴行	4,353件	（前年比 ▲10.19%）
②家庭外暴行	2,736件	（同 +0.74%）
③脅迫	1,429件	（同 ▲24.19%）
④住居侵入窃盗	6,025件	（同 ▲6.68%）
⑤殺人	14件	（同 ▲48.15%）
⑥窃盗	19,614件	（同 ▲6.27%）
⑦強姦	1,426件	（同 +46.26%）
⑧麻薬	7,987件	（同 ▲26.24%）
⑨詐欺	6,722件	（同 +50.15%）

(イ) パース首都圏（合計50,623件、前年同比▲5.12%）

①家庭内暴行	2,699件	（前年比 ▲11.01%）
②家庭外暴行	1,942件	（同 +0.05%）
③脅迫	974件	（同 ▲24.50%）
④住居侵入窃盗	4,546件	（同 ▲13.72%）
⑤殺人	8件	（同 ▲55.56%）
⑥窃盗	16,320件	（同 ▲5.93%）
⑦強姦	987件	（同 +46.44%）
⑧麻薬	5,583件	（同 ▲27.51%）
⑨詐欺	6,194件	（同 +75.17%）

(3) 邦人被害事案

9月5日、旅行者がキングスパークで車上荒らしに遭い、旅券、電子辞書等が入ったバックを盗まれた。

キングスパークでの邦人被害が3期連続で発生していることから、同所を訪れる際は特に注意が必要。

3 テロ・爆弾事件発生状況

現時点で、当地でのテロリスト・グループ等の活動に関する具体的な情報には接していないが、テロに関する一般的な警戒は必要である。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特異な事件は報告されていない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

当地では一般的に対日感情は良好であり、現在までのところ日本企業にとって安全面で脅威になる問題は認められない。